



大阪科学・大学記者クラブ 御中
(同時資料提供先：関西レジャー記者クラブ)

2017年2月27日
大阪市立大学

理学部附属植物園

植物園市民講座シリーズ：植物と私たちの生活
第8回「生活習慣病予防効果のあるトロピカル植物」
を開催します！

大阪市立大学理学部附属植物園は、平成29年3月25日（土）に、植物園市民講座シリーズ：植物と私たちの生活 第8回「生活習慣病予防効果のあるトロピカル植物」を開催します。

植物は、食用や薬用、鑑賞用として私たちの生活に密接に関わっています。さらには、癒し効果や抗疲労効果などのさまざまな生理作用を有することが報告されています。

今回は、生活習慣病の予防効果のある成分を持つトロピカル植物として、マテ、マンゴー、ナンキョウ（タイショウガ）に着目しました。マテは主に南米諸国で栽培されており、マテの葉や茎から作られるマテ茶は、世界三大飲料の一つに挙げられています。マンゴーは、タイなどの生産国において、果肉の食品加工に伴って種子が多量の産業廃棄物として処理されます。しかしその種子に抗肥満効果があることがわかり、有効利用が期待されています。東南アジア原産のナンキョウ（タイショウガ）は、トムヤムクンなどのタイの伝統料理には欠かせない食材です。ナンキョウの根茎に含まれる成分には、さまざまな生理作用を有することが明らかにされています。



マテの木

この講座では、これらの植物に含まれる成分によるアルコール性肝疾患の予防効果、抗肥満効果、認知症の予防効果とその作用メカニズムについて紹介します。

ぜひ市民の皆さまに広くご周知いただくとともに、ご取材についてご検討いただけますよう、よろしくお願い致します。

記

- 1 日 時 平成 29 年 3 月 25 日（土）14 時～16 時（雨天実施）
- 2 場 所 大阪市立大学理学部附属植物園（大阪府交野市私市 2000 番地）
京阪電車交野線「私市（きさいち）」駅 下車徒歩約 6 分
※ご来園には公共交通機関をご利用ください。
http://www.sci.osaka-cu.ac.jp/biol/botan/1_01_prof_files/0_01_04_a.html
- 3 プログラム 講演「生活習慣病予防効果のあるトロピカル植物」
講師 小島 明子（大阪市立大学大学院 生活科学研究科 准教授）
- 4 定 員 40 名（先着順）
- 5 費 用 入園料 350 円必要（中学生以下は無料）
- 6 申込方法 ①FAX ②電話 ③メール ④来園 での申し込み

①FAX の場合

(1) 氏名 (2) 住所 (3) 電話番号 (4) 職業 (5) 年齢 [(1)～(3)は記入必須]
および「第8回市民講座参加希望」と明記の上、FAXにて072-891-2101宛てに
お送りください。

②電話の場合

(1) 氏名 (2) 住所 (3) 電話番号 (4) 職業 (5) 年齢 をお伝えください。

③メールの場合

(1) 氏名 (2) 住所 (3) 電話番号 (4) 職業 (5) 年齢 [(1)～(3)は記入必須]
をメール本文に明記の上、件名に「第8回市民講座参加希望」と記載して
b-garden@sci.osaka-cu.ac.jp 宛てにお送りください。

④来園して直接申し込まれる場合

「第8回市民講座参加希望」と窓口でお伝えください。

※先着順となりますので申込受付後すぐに結果を通知いたします。

※申込時にご記入いただきました個人情報には当講座に関するご連絡及び
受講状況の分析のみに利用し、第三者に提供・開示することはありません。

7 申し込みに関する問い合わせ先

大阪市立大学理学部附属植物園 担当：伊集院

TEL：072-891-2059 FAX：072-891-2101

Email：b-garden@sci.osaka-cu.ac.jp

Web サイト：<http://www.sci.osaka-cu.ac.jp/biol/botan/>

(問い合わせ可能時間：9時から16時30分)

【本件に関する問い合わせ先】

大阪市立大学理学部附属植物園 担当：伊集院

TEL：072-891-2059

第8回 生活習慣病予防効果のあるトロピカル植物

植物は、食用や薬用、鑑賞用として私たちの生活に密接に関わっています。さらには、癒し効果や抗疲労効果などの様々な生理作用を有することが報告されています。

今回は、その中でも食用植物成分による生活習慣病の予防効果として、マテ、マンゴー、ナンキョウ(タイショウガ)に着目しました。マテは、主に南米諸国で栽培されており、マテの葉や茎から作られるマテ茶は、世界三大飲料の1つにあげられています。マンゴーは、代表的なトロピカルフルーツとしてよく食されています。タイなどのマンゴー生産国では、ジュースやドライフルーツなどの食品加工における果肉の利用に伴い、種子が多量の産業廃棄物として処理されているため、その有効利用について期待されています。東南アジア原産のナンキョウ(タイショウガ)は、トムヤムクンなどのタイの伝統料理には欠かせない食材です。ナンキョウの根茎に含まれる成分には、様々な生理作用を有することが明らかにされています。

本講演では、これらに含まれる成分によるアルコール性肝疾患の予防効果、抗肥満効果、認知症の予防効果とその作用メカニズムについて紹介いたします。



日時：2017年3月25日（土）14時～16時（雨天実施）

場所：大阪市立大学理学部附属植物園 研究棟講義室

参加費：350円必要（中学生以下無料）

定員：40名（先着順）

アクセス：京阪交野線私市（きさいち）駅より徒歩約6分
JR学研都市線河内磐船駅より徒歩約20分

プログラム

講演「生活習慣病予防効果のあるトロピカル植物」

講師 小島 明子

（大阪市立大学大学院 生活科学研究科 准教授）

マテの木

参加申込方法

☆来園、電話、ハガキ、FAXまたは電子メールにて下記の情報をお送りください。

- (1) 氏名（ふりがな）、(2) 住所、(3) 電話番号、
- (4) 差し支え無ければ職業または勤務先（任意）を下記宛お送りください。

〒576-0004 大阪府交野市私市 2000 FAX 072-891-2101

大阪市立大学理学部附属植物園「第8回植物園市民講座」係

☆メールの場合は件名を「第8回植物園市民講座参加希望」として(1)～(4)を
b-garden@sci.osaka-cu.ac.jp へお送りください。

